

2024年10月30日
西日本旅客鉄道株式会社

関西空港線における線路確認の原因と対策について

2024年10月9日に、関西空港線のりんくうタウン駅～関西空港駅間で発生させた線路の確認について、原因が判明しましたので対策と合わせてお知らせします。

お客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 受報日時

2024年10月9日（水） 8時18分頃

2 場 所

関西空港線 りんくうタウン駅 ～ 関西空港 駅間

3 列車名

下り特急電車「はるか5号」 9両編成

京都（6：44）発 関西空港（8：19）行

ご乗車のお客様：約150人

4 概 況

8時18分頃、当該電車の運転士は、りんくうタウン駅～関西空港駅間を走行中に線路付近から発煙していることを認めました。

現地確認のため、関西空港線では日根野駅～関西空港駅間で運転を見合わせていましたが、確認の結果、発煙はなく運転に支障がないことが確認できたため、9時13分に運転を再開しました。

5 列車影響

<運 休>計15本（上り8本、下り7本）

<遅 れ>当該電車が57分遅れたのを最大に、計42本（上り16本、下り26本）に遅れ

<影響人員>約20,000人

6 原 因

レールと橋桁を固定している部材を介して、レールに流れている微電流が橋桁に流れたことで、一時的に火花が出たものと推定しています。

※レールと橋桁を固定している部材は絶縁材を使用していましたが、当該箇所は塩分濃度が高い水が介在しやすい場所であり、より電流を通しやすい環境でした。

7 対 策

- ・当該箇所への絶縁スプレー（防水処置を含む）の塗布を実施しています。
- ・レールと橋桁を固定している部材をより絶縁効果の高い構造に改良予定です。